



道

山さんは退職後、1年間の社会人対象セカンドステージ大学を受講の際、佐野かるたに詠まれているが、ほとんど知られていない上羽田町龍江院所蔵のカテキ像（国重要文化財・木造エラスムス立像）を研究テーマにしました。調べていくうちに、この像はオランダの著名な哲学者エラスムスの木像と知り、400年を超える壮大な歴史ロマンと多くの謎に引き込まれていきました。

一人で始めた研究でしたが、3年前に龍江院を訪れた大学の先生たちとの出会いにより専門的な分野での共同研究ができるようになったそうです。この間、エラスムスを紹介する資料や解説DVDの作成、資料館の開設、講座の開催などの活動を10余年続けています。この像は関ヶ原の戦いの半年前に到着したオランダ船リーフデ号の船尾像で、現在は、東京国立博物館に寄託されていますが、今春の吉澤記念美術館の特別展で100年ぶりの里帰りが実現しました。本物のエラスムス立像の観覧

エラスムス像研究はライフワーク

道山さんは、会期中の2月、全国の「三浦按針がつなぐ友好団体との交流会」を佐野で開催し、またとない好機になったと振り返っています。

5月には、大阪万博関連事業として開催された「日蘭交流425周年・大坂城天守閣特別展示」でエラスムス立像が公開され、来日したオランダ国王も観覧されました。また、共に研究している森良和・元玉川大学教授編著の「エラスムス像の謎」が刊行され、道山さんも寄稿しています。そして12月、出版記念の講演会・シンポジウムが駒澤大学で開催されるそうです。今年は道山さんにとって特別な年になったようです。

「この文化遺産としてのエラスムス像を、次代を担う子どもたちをはじめ多くの方々に伝え、後世への継承に努めていきたい」と語っていました。本の出版が楽しみです。（市民記者 永倉文子）

キラリ話題の人

道山 秀樹さん

- ・エラスムス像研究会代表
- ・佐野市スポーツ協会天明支部長



市長室からこんにちは！

今年も残すところ一カ月、年末の慌ただしい時期を迎えました。今年を振り返りますと、1月に新たな行政サービス拠点としてイオンモール佐野新都市内に佐野新都市行政サービスセンターがオープンしました。土日祝日も含め午後8時まで開設しているため、ライフスタイルに合わせた手続きが可能となりました。

3月には、バリアフリーに配慮した佐野市保健センターがリニューアルオープン。さらに翌月には休日歯科診療所も併設されました。この拠点を有効に活用していただくことで、市民の皆さまの健康づくりをさらに進めてまいります。

防災面では、市内の90集落が孤立可能性集落として該当するという県の調査結果を受け、5月に「孤立集落支援に係る実動訓練」を氷室地区で実施しました。県と市、そして防災関係機関の協力により孤立集落対策に取り組んでまいります。

また、災害時の避難所環境

改善の一環として「トイレトレラー」の導入を進めるため、8月よりクラウドファンディングなどで皆さまからのご支援をお願いしました。多くの皆さまにご賛同いただき目標額を達成することができたことに心より感謝申し上げます。来年3月には「道の駅どまんかたぬま」に平時から利用できるトイレとして設置し、非常時に備えて運用を開始することで、発災時の対応体制を強化いたします。

そして、11月から県内初の取り組みとして、デジタル地域通貨「さのまるペイ」の運用を開始しました。現在、プレミアムキャンペーンを実施しており、アプリ利用の場合ではチャージ額の40%分のポイントを付与するデジタル商品券事業を行うことで、地域経済の好循環を促進してまいります。

今年もイベントや会議などで、多くの市民の皆さまとお話することができました。ありがとうございました。師走を迎え、寒さが厳しくなりますが、体調には十分お気を付けてお過ごしください。

佐野市長
金子 裕

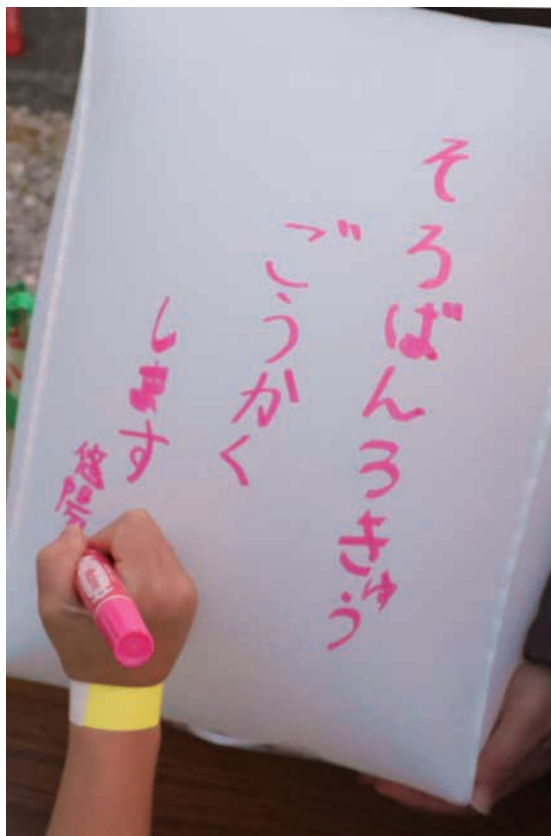


夜空に願いを込めて スカイランタン®の打ち上げ

ためまふるさと祭りは雨天により残念ながら中止となりましたが、心待ちにしていたスカイランタン® 打ち上げのみ11月3日（月・祝）に国際クリケット場で開催されました。

会場には多くの人が集まり、ランタンを手に胸を弾ませ会場全体が温かな雰囲気になっていました。願いを込めて灯したランタンが次々と夜空へ舞い上がると、辺り一面が温かな光に包まれ、静かな空にゆっくりと浮かぶ無数の灯りは、願いが星となって広がっていくような幻想的な瞬間でした。

家族や友人とともにランタンを放つひとときは、それぞれの心も優しく温かめる特別な時間となりました。（市民記者 堀越奈央）



2万人が特産品と伝統芸能を楽しむ！ どまんなかフェスタ佐野2025

11月2日（日）、KONOIKE グリーンフィールドにてどまんなかフェスタ佐野2025が開催されました。

当日は、商・工・農林業などの団体を中心に多くの出店があり、グルメや物産販売、自衛隊車両などの展示や武道・踊りのステージなど、さまざまな内容で会場は賑わっていました。

また、同じ会場で第28回国際交流フェスティバルも同時開催され、ファンガレイ市中学生派遣事業に参加した生徒による発表や国際色豊かなブースの出展などもありました。



sanoteens が取材！ さのあかり～光と巡る日本庭園と参道～

今年も、「さのあかり～光と巡る日本庭園と参道～」が開催されました。

11月8日（土）・9日（日）、14日（金）～16日（日）は人間国宝田村耕一美術館が、11月22日（土）～24日（月・祝）、29日（土）・30日（日）は唐沢山城跡・唐澤山神社が夜間、ライトアップされました。

人間国宝田村耕一美術館では、明かりによって、枯山水の模様がより強調され、日本庭園の美しさを実感することができました。また、和傘と赤く色づいた紅葉、そしてライトアップが重なり合うことでとても幻想的な雰囲気に包まれました。



sanoteens（文、写真＝りの）

